

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	33° 10′ 29.00″	橋梁ID
				経度	132° 47′ 33.00″	
川田城橋 (フリガナ)カワダジョウハシ	用井昭和線	四万十市西土佐用井～四万十市西土佐用井				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
高知県 四万十市	2021.1.22	河川	無	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

(有)ニッケン土木コンサルタント 上岡啓介

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に 記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅲ	剥離・鉄筋露出、床版ひびわれ	写真1,2 床版02			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅱ	遊間の異常	写真3 支承0101			
その他		Ⅱ	路面の凹凸	写真4 路面			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	床版にはひびわれ、剥離・鉄筋露出が発生している。桁端部の遊間がない。路面は38mm程度の段差がある。いずれも補修することが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1972年	22m	4.3m
橋梁形式		
I形鋼桁、逆T式橋台2基		

下流



上流

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(床版02)【判定区分： Ⅲ 】 写真1 剥離・鉄筋露出 	上部構造(床版02)【判定区分： Ⅱ 】 写真2 床版ひびわれ 
支承部(支承0101)【判定区分： Ⅱ 】 写真3 遊間の異常 	路面【判定区分： Ⅱ 】 写真4 遊間の異常 